

日本レスリング協会 男子強化委員会

【強化委員長＝兼フリースタイル・ヘッドコーチ】佐藤満(専大教)



1961年12月21日、秋田県生まれ。秋田商高時代の79年に高校三冠王へ。80～82年に全日本大学選手権の、81～83年には全日本学生選手権のそれぞれフリー52kg級で優勝し、81年にはユニバーシアードでも優勝した。

84年ロサンゼルス五輪出場は逃したが、85年にワールドカップで勝ち、世界選手権で銅メダル。86年アジア大会優勝、世界選手権2位、87年世界選手権3位と好成績を重ね、88年ソウル五輪で優勝した。約2年間の休養のあと現役へ復帰し、92年バルセロナ五輪は6位。北京五輪までは男子フリースタイルのヘッドコーチ兼ジュニア担当コーチ。《現役時代はフリースタイル52kg級》

【強化副委員長＝兼グレコローマン・ヘッドコーチ】伊藤広道(自衛隊)



1963年11月1日、岐阜県生まれ。中津商高時代は全国大会無冠。自衛隊へ進み、84年全日本社会人選手権で優勝して初タイトルを獲得。85年全日本選手権グレコ74kg級で優勝。86年アジア大会3位、87年世界選手権10位を経て88年ソウル五輪で8位入賞を果たした。

その後、89年アジア選手権2位、90年アジア大会2位と力を発揮したが、92年バルセロナ五輪は逃す。93年アジア選手権でも2位へ入賞したが、94年世界選手権出場のため、指導へ回った。00年シドニー五輪、04年アテネ五輪、08年北京五輪にコーチとして参加。《現役時代はグレコローマン74kg級》

【テクニカル・ディレクター＝兼グレコローマン・コーチ】久木留毅(専大教)



1965年12月28日、和歌山県生まれ。新宮高～専大卒。86年全日本学生選手権3位、87年全日本選手権5位などを経て、91・92年全日本社会人選手権2位。その後、国際協力機構(JICA)・青年海外協力隊にてシリア・アラブ共和国へ派遣(93～96年)。シリア・ジュニア代表コーチへ。

00年シドニー五輪後から全日本チーム・コーチ。筑波大学大学院、法政大学大学院を修了し、スポーツ医科学と政策科学に精通。現在は、日本オリンピック委員会・各専門委員会委員、情報戦略部会部会長。04年アテネ五輪、08年北京五輪には、JOC情報戦略スタッフとして参加。スポーツ医学博士。《現役時代はグレコローマンスタイル52・57kg級》

【フリースタイル・コーチ】田南部力(警視庁)



1975年4月20日、北海道生まれ。岩見沢農高時代に2年連続でインターハイ王者へ。日体大へ進み、96年の全日本選手権に初出場初優勝を達成。翌年は世界選手権代表を逃したものの、98年から日本王者・代表に定着。00年冬の五輪予選を勝ち抜いてシドニー五輪へ。10位に入った。

01年は負傷で世界選手権出場を逃したものの、02年に復活し、世界選手権6位、アジア大会2位。翌03年2月のデーブ・シュルツ記念国際大会では現役世界王者を破るなど世界のトップクラスの実力を見せた。同年世界選手権で7位に入り、04年アテネ五輪の出場権を獲得。同五輪で銅メダルを取って現役を引退した。《現役時代はフリースタイル54・55kg級》

【フリースタイル・コーチ】井上謙二(自衛隊)



1976年11月5日、京都府生まれ。網野高時代の94年に高校四冠王を達成し、日大へ進学。98年には全日本学生王者に輝き、同年の世界学生選手権でも3位入賞と順調に力を伸ばした。

その後、ひざの負傷もあって卒業後に伸び悩み、全日本王者に手が届かなかった。しかし不屈の精神力ではい上がり、03全日本選手権で2位へ。その後の五輪第2次予選第2ステージの日本代表に抜てきされ、優勝して見事に五輪出場資格を獲得。4月の明治乳業杯全日本選抜選手権でも優勝し、五輪代表を決めた。08年北京五輪も目指したが達成できず、現役を引退。《現役時代はフリースタイル58・60kg級》

(続く)

【フリースタイル・コーチ】小平清貴(警視庁)

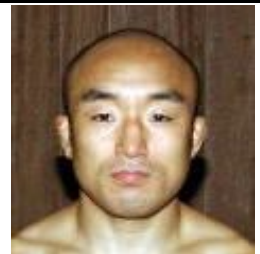
1978年12月25日、茨城県生まれ。茨城・霞ヶ浦高～山梨学院大卒。高校時代の96年に国体優勝。山梨学院大へ進み、99・00年に学生二冠王へ輝き、00年に全日本選手権優勝。01年に東アジア大会2位のあと、初の世界選手権出場を果たした。

03年に全日本選手権で優勝。アテネ五輪の予選に挑んだが、及ばなかった。04年に全日本選手権で優勝。その後、同級の第一人者となり、05～07年の世界選手権に出場した、しかし08年アテネ五輪は予選を突破できずに出場できなかった。同年夏、現役を引退。《現役時代はフリースタイル97・96kg級》

【フリースタイル・コーチ】和田貴広(国士大職)=ジュニア担当コーチ

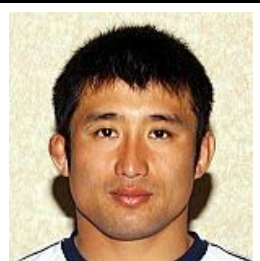
1971年11月16日、鹿児島県生まれ。鹿児島商工高時代に国体で優勝。国士大へ進んで92年に全日本大学選手権で優勝。93年にアジア選手権の代表となり2位。世界選手権へも出場した(初戦敗退)。その後、94年のアジア大会で日本唯一の金メダルを獲得。95年はアジア選手権、世界選手権ともに2位。96年アジア選手権で優勝したあと、アトランタ五輪は4位。

99年から69kg級へアップし、同年アジア選手権2位、00年アジア選手権4位。しかし00年シドニー五輪は予選リーグ敗退に終わった。04年アテネ五輪、08年北京五輪はコーチとして参加。《現役時代はフリースタイル62・63・69kg級》

【グレコローマン・コーチ】元木康年(自衛隊)

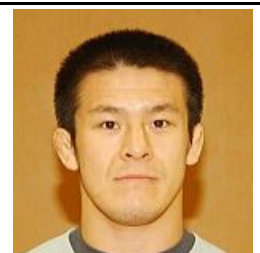
1969年12月23日、山形県生まれ。庄内農高時代は柔道の選手。自衛隊に進んでからレスリングを始め、全日本社会人選手権などの優勝を経て、96年に全日本選手権グレコローマン62kg級で初優勝。97年アジア選手権2位など実力をつける。この間、サンボの全日本選手権でも優勝している。

99年全日本選手権63kg級で2位に終わるも、シドニー五輪予選出場の資格をもらい、平井満生とともに戦って同級の五輪出場権を獲得。平井とのプレーオフに勝って五輪へ出場した。その後、コーチへ。08年北京五輪は支援コーチ。《現役時代はグレコローマン62・63kg級》

【グレコローマン・コーチ】豊田雅俊(警視庁)

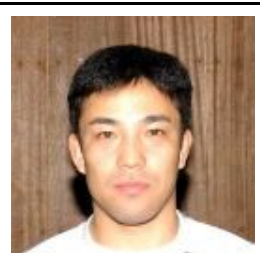
1976年10月25日、徳島県生まれ。徳島・穴吹高～拓大卒。高校時代からグレコローマンで頭角を現し、93・94年に2年連続で高校3大タイトルを獲得。拓大2年生の96年にグレコローマンの学生二冠王へ。

その後、全日本王者には手が届かずシドニー五輪を逃すなど、やや低迷した時期もあったが、02年に全日本選手権初優勝。03年に世界選手権へ初出場した。04年は五輪予選を勝ち抜き、国内でのプレーオフにも勝ってアテネ五輪出場を果たした。05～07年に連続で世界選手権に出場し、日本のグレコローマン55kg級を支えた。しかし08年北京五輪出場を逃し、現役を引退。《現役時代はグレコローマン54・55kg級》

【グレコローマン・コーチ】松本慎吾(一宮運輸=4月から日体大教)

1978年3月3日、愛媛県生まれ。愛媛・津島高～日体大卒。高校時代に国体王者へ。98年に学生四冠王へ。99年はグレコローマンで学生二冠を制し、全日本選手権初優勝。00年シドニー五輪は逃したが、00年世界学生選手権4位。01年は東アジア大会で勝ち、アジア選手権2位のあと、世界選手権へ初出場。

02年のアジア大会で金メダル。03年も世界選手権へ出場し、04年はアテネ五輪で7位に入賞した。05年は世界選手権8位、06年も世界選手権9位、アジア大会3位。07年世界選手権、08年アテネ五輪に出場したが、ともに1回戦で敗退。五輪後、現役に区切りをつけたが、指導者になる一環として全日本選手権のフリースタイル96kg級に出場し優勝した。《現役時代はグレコローマン85・84kg級》

【グレコローマン・コーチ】嘉戸洋(環太平洋大教)

1971年9月20日、島根県生まれ。川本高時代は全国大会無冠だったが、国士大へ進み、90年全日本大学グレコ選手権の1年生王者へ。92～93年にグレコの学生二冠王へ。94年に世界選手権出場のチャンスももらい9位へ。同年の全日本選手権で初優勝し、翌95年の世界選手権で銀メダルを獲得した。

96年もアジア選手権3位のあと、アトランタ五輪へ出場、7位へ入賞した。その後、しばらく現役を続けたが、00年シドニー五輪前に指導の道へ。02～03年の約1年間、コーチ研修でウクライナへ滞在した。04年アテネ五輪、08年北京五輪はコーチとして参加。《現役時代はグレコローマン48・54kg級》